

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-237965

(P2004-237965A)

(43) 公開日 平成16年8月26日(2004.8.26)

(51) Int.Cl.⁷

B 6 2 J 6/00

B 6 2 J 6/20

F I

B 6 2 J 6/00

B 6 2 J 6/20

テーマコード (参考)

Z

E

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2003-71002 (P2003-71002)

(22) 出願日 平成15年2月7日(2003.2.7)

(71) 出願人 503099385

平野 利一

神奈川県横浜市神奈川区神之木台 1 3—1
5

(71) 出願人 591113507

山田 景得

神奈川県川崎市高津区久本 2—7—1 2

(72) 発明者 山田 景得

神奈川県川崎市高津区久本 2—7—1 2

(54) 【発明の名称】 自転車の車輪取り付け LED 発光安全照明灯

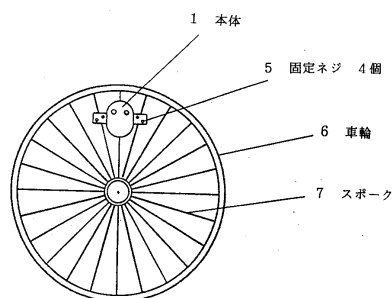
(57) 【要約】

〔課題〕 夜間自転車の走行が明るい場所や 遠方から良く見え確認できる LED 発光点灯する自転車用安全灯の提供です。

〔解決手段〕 車輪の左右両側面から見える構造の LED 発光安全照明灯を造り 車輪スポーク部分に取り付け固定します。

LED が点灯し車輪が回転すると 大きい光の輪の照明灯になり 明るい場所や遠方から良く見えます。

【選択図】 図 2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電池・ＬＥＤ・ＬＥＤ発光制御回路を一体にし防水ケースに収納した構造で 発光色 赤・緑・青・白色のＬＥＤを組み合わせて点灯し点灯光が車輪の左右両側面から見える構造で 自転車の車輪スポーク部分に取り付け固定して使用する 自転車の車輪取り付けＬＥＤ発光安全照明灯。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

〔発明の属する技術分野〕

本発明は、自転車の車輪スポーク部分にはめ込み取り付け固定する構造の ＬＥＤ（発光ダイオード）発光点灯する 自転車用安全灯に関する。 10

【０００２】

〔従来技術〕

従来市販されている安全照明灯は、懐中電灯方式で自転車の車体に取り付ける構造なので 光が点光源になり視認角度が狭く 明るい場所では回りの光に消され目立たず 遠方からは良く見えないので 安全灯として適していない。

【０００３】

〔発明が解決しようとする課題〕

夜間自転車に乗っている人が安全走行できる様 自転車に簡単に取り付けられ明るい場所や遠方からでも 光が良く見える安全灯の開発である。 20

【０００４】

〔課題を解決する手段〕

本発明は、ＬＥＤ発光安全照明灯を自転車の車輪スポーク部分に取り付ける構造に造り ＬＥＤを点灯し車輪が回転すると 左右両側面からは大きい光の輪の照明となり 遠方からでも良く見えるようにしました。

【０００５】

〔発明の実施の携帯〕

ＬＥＤ・点灯制御回路・電池・スイッチを一体にして防水構造のケースに入れ自転車の車輪スポーク部に取り付け固定します、ＬＥＤが点灯し車輪が回転したとき 自転車の左右両側面から大きい光の輪に見える構造にしました。 30
取り付けは車輪のスポーク間に挟み込み固定します。

【０００６】

〔発明の効果〕

ＬＥＤ安全照明灯を車輪に固定しＬＥＤに通電し 車輪が回転すると大きい光の輪になり 明るい場所や遠方からでも良く見え 夜間自転車走行時の安全灯として信頼の高い照明灯になりました。

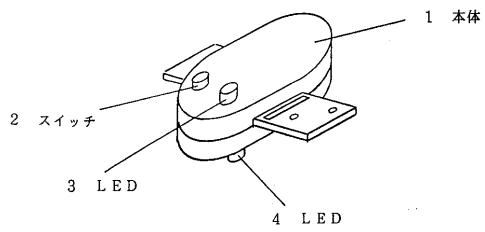
【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の全体外観斜図

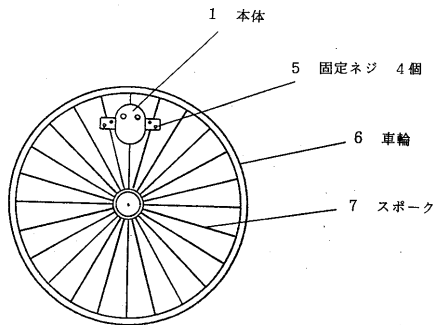
【図 2】本発明の車輪取り付け図

【図 3】本発明のＬＥＤ点灯制御回路図 40

【図 1】



【図 2】



【図 3】

